

公立高校入試情報 長崎県

【社会】

令和7年度長崎県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問は地2・歴1・公1・地歴1の計5問。(昨年は地理2・歴史2・公民2の計6問)
- 小問数は32問で昨年より11問減少。記述問題は8問で昨年と同じ。
- 出題傾向について
- 各分野とも基本的な知識を問う問題が多く、広範囲から万遍なく出題されている。
- 地理分野では例年通り地形図の読み取り問題が出題されている。
- 地理分野では時差の計算問題が出題されている。
- 公民分野では直接請求権の署名人数を求める計算問題が出題されている。

■ 地形図を読みとる問題の出題

- ・例年地形図の読み取り問題が出題されているため、さまざまな地形図の問題パターンに慣れておくことが必要。

■ 資料読み取り問題の出題

- ・複数の資料を読み取る問題や、公民の統計資料から考えられることを記述する問題が出題されているため、さまざまな統計資料に慣れておくことが必要。

★長崎県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●		●
		日本の姿	●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●
		アジア州		●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●	●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法	●	●	●
		日本の自然, 人口	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	
		九州地方, 中国・四国地方	●	●	
	歴史的分野	近畿地方, 中部地方	●	●	●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●	
		文明のおこりと日本		●	●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●		●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●		●
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国		●	●
	公民的分野	近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
		現代社会と私たちの生活		●	●
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●
		現代の民主政治, 国会		●	●
		内閣・裁判所, 三権分立	●	●	●
		地方自治	●	●	●
出題形式別の傾向	分野統合	消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち	●	●	●
		分野統合			●
		大問数	6	6	6
		小問数	41	46	43
		記号解答	19	22	20
		用語記述	18	15	15
		文章記述	4	9	8
		作業・作図			